



社会医療法人財団 石 心 会

川崎幸病院

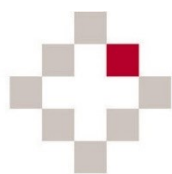
患者支援センター

地域医療連携室ニュース



2020年10月

川崎幸病院 患者支援センター 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



川崎幸病院 腎臓内科 診療体制のご紹介



川崎幸病院
腎臓内科部長 宇田 晋

■ 専門分野・得意とする手技

腎臓内科学一般
血液浄化療法

■ 略歴

1987年 昭和大学医学部卒
1987年 昭和大学藤が丘病院 内科
1989年 昭和大学藤が丘病院 腎臓内科
2001年 神戸大学附属病院 代謝機能疾患治療部
2003年 東芝林間病院 腎臓内科
2006年 関東労災病院 腎臓内科
2015年 川崎幸病院 内科

■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本腎臓学会専門医・指導医・評議員
日本透析医学会専門医・指導医・評議員
日本腎臓リハビリテーション学会代議員

いつも多くの患者さんをご紹介いただき有難うございます。

私、小向副部長、柏葉医師に加え、2020年4月から新たに塚原、山崎、川崎医師を迎え入れることができ、より充実した腎臓内科診療を実践することが日々可能になりつつあります。このような働き盛りの医師たちの加入は従来から在籍している私達にとりましても良き刺激になり、チームの総合力は間違いなく強力になっていることを日々実感しております。

当科は透析療法を含む慢性腎臓病(CKD)診療、水・電解質異常、腎炎診断および治療など、腎移植を除くほぼ全領域の腎疾患診療が可能で、川崎幸病院で入院治療を、川崎幸クリニック、川崎クリニック、さいわい鹿島田クリニックで外来診療をほぼ毎日行っています。

従来の外来に加え、塚原医師は川崎幸クリニックで腎臓病外来、山崎医師は川崎クリニックで腹膜透析外来を担当し、同様に4月から当法人に入職した甲斐医師が、さいわい鹿島田クリニックで腹膜透析および腎臓内科外来を担当しており、外来診療のキャパシティも昨年に比し、より大きくなっています。

今後も引き続き当院との連携にご協力いただけますと幸いです。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

診療対象疾患

- 急性および慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群
- 急性および慢性腎不全(慢性腎臓病: CKD)
- 水・電解質・酸塩基平衡異常
- 長期維持透析患者の合併症、バスキュラーアクセストラブル



腎臓内科副部長

小向 大輔

■ 専門分野

腎臓内科一般
ネフローゼ症候群
腹膜透析を含む維持透析管理
膠原病内科一般

■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本腎臓学会専門医
日本透析医学会専門医
厚生労働省認定臨床研修指導医

■ 略歴

1998年 昭和大学医学部卒
1998年 昭和大学藤が丘病院 初期臨床研修医
2002年 東芝林間病院 腎臓内科
2006年 富士吉田市立病院 内科
2006年 昭和大学藤が丘病院 内科腎臓
2016年 川崎幸病院 腎臓内科

平素より患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。当科では腎生検による腎臓病の診断と治療、保存期慢性腎不全の管理・指導、全身疾患に伴う腎臓病の診断と治療、慢性維持透析導入・管理・合併症治療などを行い、腎疾患全般について対応しています。ガイドラインを重視した上で、患者背景を尊重した個別の治療方針を立てることを心がけています。

川崎南部地域は慢性腎臓病の患者さんが多く、腎不全進行抑制や心血管疾患管理のために地域の先生方と密に連携しながら診療を行う必要性を強く感じています。

腎に関連するどんな相談でも受け付けますので、お気軽にご紹介いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

腎臓内科医長

塚原 知樹

■ 専門分野

急性腎障害
慢性腎臓病
電解質異常
シャントPTA

■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本腎臓学会専門医
米国内科専門医(American Board of Internal Medicine: ABIM)
米国腎臓内科専門医(American Board of Internal Medicine: ABIM)

■ 略歴

2005年 慶応義塾大学医学部卒
2007年 飯塚病院 初期臨床研修修了
2011年 アリゲニー総合病院 内科レジデント修了
2013年 アイオワ大学病院 腎臓内科フェローシップ修了
2016年 つくばセントラル病院 腎臓内科
2020年 川崎幸病院 腎臓内科

縁あって川崎幸病院の腎臓内科に参りました、塚原知樹と申します。国内外いろんなところで様々な経験をして参りましたが、まだまだ道半ばの若輩者でございます。つきましては、今後もこの川崎の地で精進して参りますので、ご指導の程なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

そんなわけで、本当は「専門分野」などお示しするのもおこがましいのですが、ご紹介いただいた患者様の診療には最善を尽くす所存でございます。少しでも先生方のお役に立てましたら幸いです。重ねまして、今後ともよろしくお願い申し上げます。



腎臓内科医師 山崎 あい

■ 専門分野
透析療法

■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本腎臓学会専門医

日本透析医学会専門医、日本アフェリシス学会認定血漿交換療法専門医

今年4月より赴任しました。腹膜透析の外来を担当しております。丁寧な説明を心がけながら、真摯に取り組んでいきます。今後ともよろしくお願い致します。

腎臓内科医師 柏葉 裕

■ 略歴

2015年 東北大学医学部卒

2015年 川崎幸病院 初期臨床研修医

2017年 川崎幸病院 腎臓内科

地域の先生方のお役に立てますよう尽力して参ります。川崎幸クリニックにて外来を担当しております。患者さんのご紹介、何卒よろしくお願い申し上げます。

腎臓内科医師 川崎 真生子

この春より入職致しました川崎真生子と申します。

腎臓内科病棟と救急外来で日々診療を行っております。地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



(前列左から)

小向 大輔
宇田 晋

副部長
部長

(後列左から)

塚原 知樹
川崎 真生子
山崎 あい
柏葉 裕

医長



慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病

- 腎生検を行って確定診断し、適切な治療法を選択します。
- IgA腎症には扁桃腺摘出術に加え、副腎皮質ステロイドのパルス療法を行います。
- 頻回再発型、ステロイド依存性特発性ネフローゼ症候群の患者さんに対して状況によりリツキシマブ投与を行うこともできます。
- 腎のみならず心血管病のスクリーニングも行います。
- 推算GFRが予想以上に低値と思われる患者さんには外来で「イヌリンクリアランス測定」を行うことにより、「真の」GFRを測定することができます。

右記のような患者さんをご紹介します

当科に患者さんをご紹介いただく際の、一つの目安としてお考えください。先生方からのご紹介に対して迅速に対応させていただきます。
今後ともよろしくお願い致します。

- ① 0.50g/gクレアチニン 以上, 2+以上の蛋白尿
- ② 蛋白尿と血尿がともに陽性 (1+以上)
- ③ 推算GFR <50mL/分/1.73m²
- ④ 血圧のコントロールがつきにくい
- ⑤ 腎機能が次第に悪くなる

■ 治療実績

	2019年度
バスキュラーアクセス造設術	72
シャントPTA	82
透析長期留置カテーテル挿入	18
腹膜透析カテーテル挿入	19

■ 透析導入

	2019年度
HD導入	47
CAPD導入	12

■ 腎生検

	2017年度	2018年度	2019年度
IgA腎症	12	13	15
半月体形成性腎炎	0	2	1
糖尿病性腎症	2	0	0
良性腎硬化症	3	2	1
膜性腎症	2	0	3
Minor glomerular abnormalities	3	1	0
微小変化型ネフローゼ症候群	1	1	1
ループス腎炎	0	1	0
紫斑病性腎炎	0	0	2
肥満腎症	2	1	0
間質性腎炎	3	1	1
菲薄基底膜病	2	2	2
その他	3	2	3
計	33	26	29



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

川崎市幸区大宮町31番27

代表 (24時間対応)

☎ 044-544-4611

緊急を要する患者の紹介は
下記へご連絡下さい。

地域医療連携室直通

☎ 044-544-4638



腎臓内科専門外来のご案内

専門外来を「川崎幸クリニック」・「川崎クリニック」・「さいわい鹿島田クリニック」にて行っております。患者さんのご都合に合わせて、最寄りの外来クリニックをご予約下さい。尚、川崎クリニック・さいわい鹿島田クリニックではCAPD(腹膜透析)外来を行っております。

また、救急疾患、入院治療は川崎幸病院にて行っております。緊急を要する際には、下記地域医療連携室まで御連絡ください。

腎臓内科専門外来担当表 (2020.10現在)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
 社会医療法人財団 石心会 川崎幸クリニック	午前			佐藤 文絵	柏葉 裕	及川 愛	
	午後	小向 大輔	中島 豊	宇田 晋		塚原 知樹	
 社会医療法人財団 石心会 川崎クリニック ▲腹膜透析(PD)外来	午前	熊田 千晶	宇田 晋	▲山崎あい	▲中島 豊		中島 豊
	午後		穴戸 寛治	▲小向大輔	▲中島 豊	中島 豊	
			若狭 幹雄		金子 朋広	▲酒井行直	
 社会医療法人財団石心会 さいわい鹿島田クリニック ▲2・3・5週は腹膜透析(PD)外来	午前					▲甲斐恵子	
	午後	木暮 照子				木暮 照子	



川崎市幸区南幸町1-27-1

☎:044-511-2112



川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビルディング6・7・8F

☎:044-222-9259



❖さいわい鹿島田クリニック ☎:044-556-2722

川崎市幸区新塚越201番地ルリエ新川崎3F・4F

救急/入院



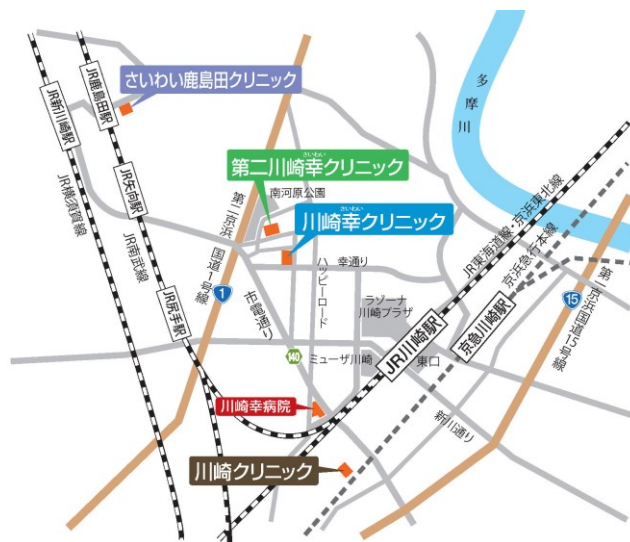
川崎市幸区大宮町31番27

代表: (24時間対応)

☎:044-544-4611

地域医療連携室 直通

☎:044-544-4638



川崎幸クリニック・川崎クリニック ミニシャトルバスのご案内

乗り場のご案内

川崎駅東口バス乗り場

ご乗車できるバス

- ・川崎クリニック
ミニシャトルバス
(東口便)



J R川崎駅東口のシャトルバス乗り場は「一時停車場」です。
乗り場には川崎クリニックの表示がありませんのでご注意ください。
「一時停車場」はJ R川崎駅東口、ヨドバシカメラ前です。

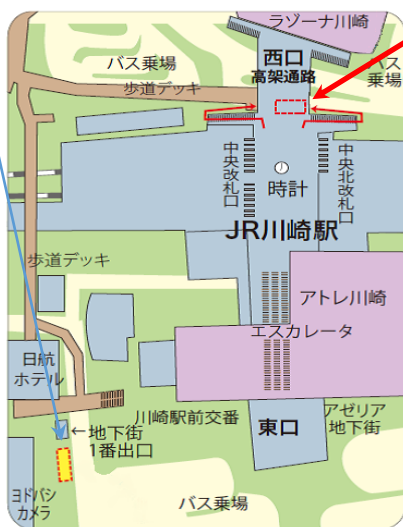
川崎駅西口バス乗り場

ご乗車できるバス

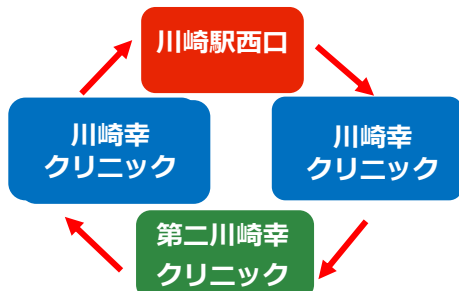
- ・川崎幸・第二川崎幸
ミニシャトルバス
- ・川崎クリニックミニ
シャトルバス (西口便)



J R川崎駅西口のシャトルバス乗り場は、「一般車乗降場」です。乗り場には川崎幸病院の表示がありませんのでご注意ください。
J R川崎駅西口、コンコース手前側の階段を降りた、高架通路の下にございます。



川崎幸・第二川崎幸ミニシャトルバス



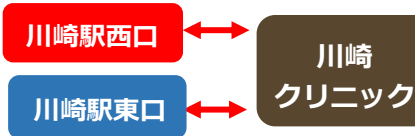
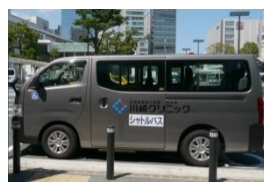
運行経路

川崎駅西口・川崎幸クリニック・第二川崎幸クリニックを巡回

運行時間

1周約25分～30分間の循環運行を行います。
※土曜の午後・日曜・祝日は運行していません。

川崎クリニックミニシャトルバス



運行経路

- ① 川崎駅西口と川崎クリニックを直通で結びます。
- ② 川崎駅東口と川崎クリニックを直通で結びます。

運行時間

月～金曜日と土曜・祝日の午前中は運行をいたします。
※土曜・祝日の午後、日曜は運行していません。

◆ミニシャトルバス時刻表 (2020.8現在)

◆川崎幸・第二川崎幸ミニシャトルバス

時	川崎駅西口 発		
	川崎幸クリニック 行	第二川崎幸クリニック 行	
8	15	*45	50
9	15	*45	50
10	15	*45	50
11	15	45	50
12	15	50	
13	15	*45	50
14	15	*45	50
15	15	45	50
16	15		

- 第二川崎幸クリニックへ行かれる方は川崎幸クリニックで降りずにそのままお待ちください
- 川崎駅から川崎幸クリニックまで10分程度、第二川崎幸クリニックまでは15分程度かかります

◆川崎クリニックミニシャトルバス

時	川崎駅西口発 川崎クリニック行	川崎駅東口発 川崎クリニック行
8	15 45	00 20 40
9	15 45	00 20 40
10	15 45	
11	15	
12		
13	15 45	10 30 50
14	15 45	10 30 50
15	15 45	10 30
16	15	

赤枠内は土曜、祝日は運行していません

*印は第二川崎幸クリニック直通です。
土曜日の最終バスは12:15となります